

## 3D船舶モデルデータのVR・AR・3D画面への表示

川原慎太郎<sup>†</sup>, 荒木文明<sup>†</sup>, 井門俊治<sup>††</sup>  
<sup>†</sup>海洋研究開発機構 地球シミュレータセンター  
<sup>††</sup>埼玉工業大学

### はじめに

海洋研究開発機構が所有する各種船舶の3-Dモデルデータの有効活用を目的として、VR、ARおよび3Dディスプレイを用いた表示を試みた。モデルデータは使用する目的や、作成時期によりDXF形式(\*.dxf)、LightWave3D形式(\*.lwo)、Shade形式(\*.shd)、VRML形式(\*.wrl)などデータフォーマットが異なるため、利用方法に応じて適切なデータフォーマットへの変換を行う必要がある。本稿では変換したファイルフォーマットと、表示結果の組み合わせについて報告すると共に、今後の活用における展望について述べる。

### VRによる表示

各種モデルデータをGFAフォーマットに変換し、AVS for CAVEによるCAVE表示を行った(図1)。変換したGFAファイルはCAVE表示だけでなく、AVS/ExpressやMicroAVSの他、フリーの3D AVS Playerでのデスクトップ表示にも利用可能である。また、VRMLデータ表示用CAVEプログラムを開発し、CAVE上での表示を行った(図2)。本プログラムでのVRMLファイルの読み込みには、独自に開発したVRMLパーサを用いている。読み込まれた頂点および法線データ群はOpenGLにより描画される。

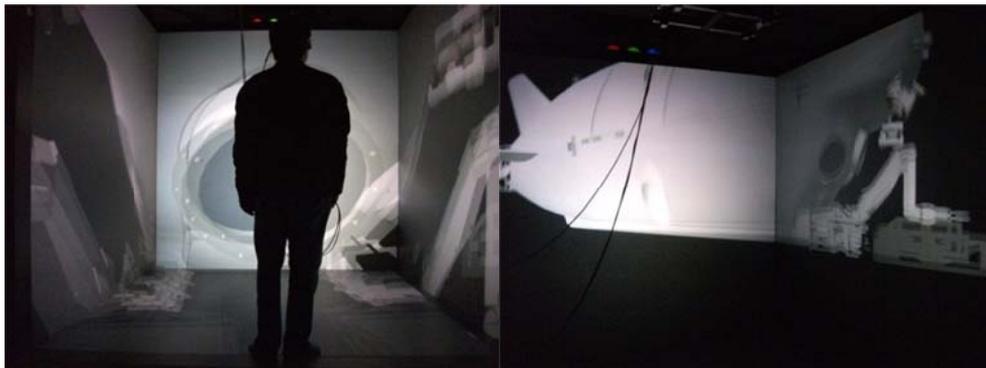


図1 AVS for CAVEによるCAVE装置への表示



図2 開発したCAVE用VRMLビューアによるCAVE装置への表示

### ARによる表示

しんかい6500(図3)のVRMLデータに対し、ARToolKit[1]+OpenVRMLを使ったAR表示を行った。ARToolKitは、拡張現実(AR:Augmented Reality)アプリケーション開発用のオープンソースのCライブラリ

りである.本ライブラリを用いることで,AR アプリケーションを比較的容易に開発することが可能である.また,OpenVRMLはVRMLおよびX3Dのクロスプラットフォームライブラリであり,これを用いることでARToolKitを使ったプログラムへのVRMLファイルの読み込みを可能としている.PCに接続したカメラによりリアルタイム入力された映像中から,ARToolKitにより認識されたAR用マーカの位置に3-Dモデルデータを表示させた.オリジナルのVRMLデータ(図4)では船体に貼付されている船名などのテキストについてAR表示(図5)では欠落が確認できるものの,概ね良好な表示ができていることが確認できる.VRML形式に変換した他の船舶データについても,しんかい同様ARでの表示を行った(図6).



図3 しんかい 6500(JAMSTEC Web ページより)



図4 VRML ビューアでの表示

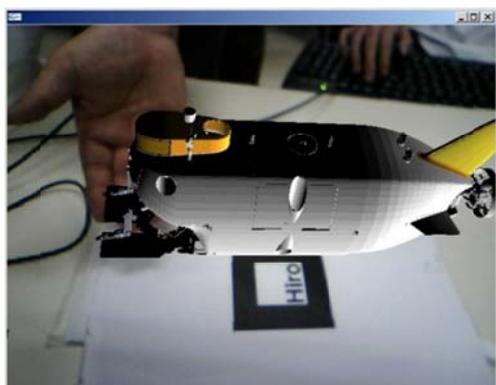


図5 「しんかい 6500」モデルデータのAR表示

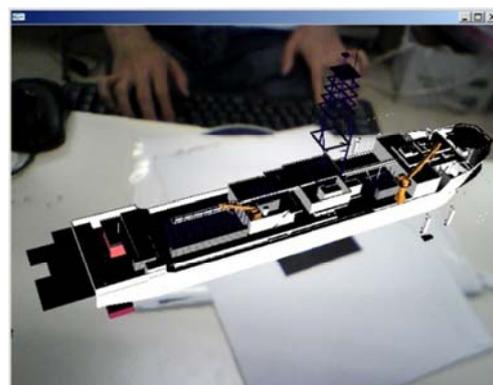


図6 「ちきゅう」のAR表示

## まとめ

各種船舶の3-Dモデルデータの有効活用を目的として,VR,ARおよび3Dディスプレイを用いた表示を試みた.適切なファイルフォーマットへの変換を行うことにより,各種表示法によるモデルデータの利用が可能であることが確認できた.今後は,VR表示時に実寸表示した場合の臨場感の程度などについて検証を進め,教育用や展示用コンテンツとして利用することが期待できる.

## 謝辞

本稿におけるデータ変換,各装置への出力に御尽力いただいた埼玉工業大学 井門研究室の大学院生,研究生,卒業研究生の皆さんに深謝致します.

## 参考文献

- [1] ARToolKit(<http://www.hitl.washington.edu/artoolkit/>)